

年度までにおいてみると、盲、聾養護学校全教員に占める男子教員の比率と、女子教員の比率の差は年々縮小の傾向を示しており、昭和51年度においては、男子教員52.4%、女子教員47.6%となっている(図2-5-12)。

また、盲、聾養護学校教員の男女別年齢構成(5歳階級)の割合を昭和51年度においてみると、男子教員で最も多いのは45歳から49歳、次いで40歳から44歳となっており、盲、聾養護学校男子教員に占める40歳代教員は約48%となる。

一方、女子職員について、最も多いのは40歳から44歳であり、次いで45歳から49歳となっており、盲、聾養護学校女子教員に占める40歳代教員は約37%となる(図2-5-13)。

次に、盲、聾養護学校教員(校長及び教頭、養護教員等を除く。)の盲、聾養護学校教員免許状所有状況についてみると、昭和51年度は162人となっており、この割合は53.5%である(表2-5-15)。

本県では、盲、聾養護学校教員免許状非所有者に対し資格付与講習会を実施し、盲、聾養護学校教員免許状の取得を奨励している。

これから、盲、聾養護学校の教員構成について、全教員に対する男子教員と女子教員の割合は均衡した配置状況となっている。

一方、年齢構成でみた男子教員及び女子教員は共に40歳以上の教員の割合が高く、20歳代30歳代教員の占める割合は低い。

また、盲、聾養護学校教員免許状非所有者が約54%であり、盲、聾養護学校教員2人に対し1人は盲、聾養護学校免許状非所有者となっている。

従って、今後は、盲、聾養護学校の教育条件整備の一環として、性別、年齢、「盲、聾養護学校教員免許状所有状況」等を考慮した教員構成を図る必要がある。

また、盲、聾養護学校教員免許状の非所有者に対し、資格付与講習会への参加奨励策の検討を進める必要がある。

図2-5-13 盲、聾養護学校教員の男女別年齢構成比

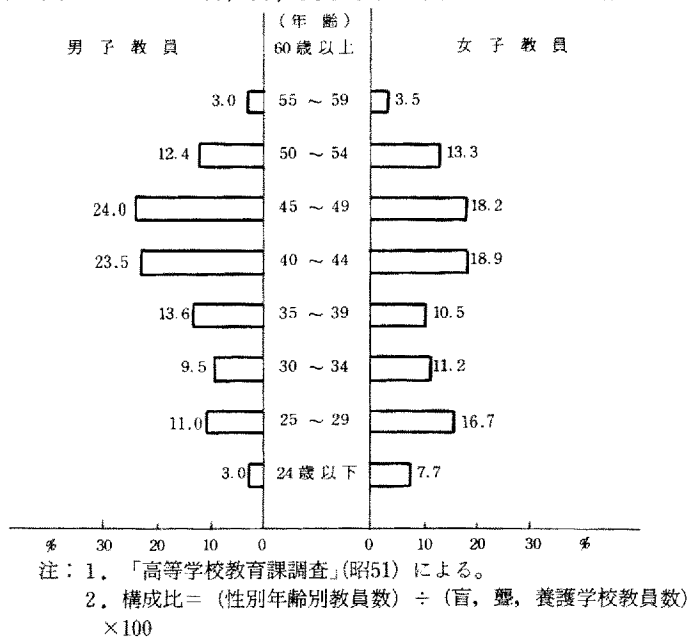


表2-5-15 盲、聾養護学校教員免許状所有状況の割合

教員数	幼稚部	小学部	中学部	高等部	合計	割合
303人	11人	86人	36人	29人	162人	53.5%

注：1. 「高等学校教育課調査」(昭51)による。
2. 教員数には、校長、教頭、養護教員等を含まない。